

スピリチュアル物語

195話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

- Skypeセッション 1時間\$80 / 90分\$115
- メール相談 簡易コース\$15 / 通常コース\$40



「えー？母ナンシーはエジソンのことを櫛の枝で叩いた？」ウィザットが首を縮めて怖がった表情を見ると「優しいだけじゃないんですね」マジリアルも驚きを隠せない。「そうかな：それが本当の優しさかも知れんぞ。今の時代は叩くこと自体に賛否両論はあるが、ナンシーが彼を叩いたのは、彼が危険なことをした時だけじゃ。つまり、命の危険を痛みによって知らせるという愛の鞭じゃな。彼が憎くて、或いは自分の負の感情の捌け口として叩いたのではないということはエジソンも充分理解しておったじゃ

ろ。彼は、叱られた後に母親が自分が無事だったことを神様に感謝し祈りを捧げている姿を偶然見掛け、その姿を生涯忘れずにいたということじゃから。更に、彼が5歳の時に事故によって聴力が弱まってしまった際もナンシーは耳以外の健康にアテンションすることを示唆し、励ましたそうじゃ。それにより一時は落ち込んでいたエジソンも耳が不自由だと逆に研究に集中出来ていい、とまで言う様になりその後も頑張れたんじゃよ」マグワートの言葉に、「凄いですよね、失ったものを嘆くのではなく他に視点を

向けてポジティブな解釈をするっていうのは：」「そうじゃな。人は失ったもの、足りないものに引っ張られネガティブになりがちじゃが、そんな時こそ今あるものに感謝し前向きに捉えることで、ポジティブ変換することが出来るんじゃない」「本当に彼の功績は母ナンシーの深い愛とポジティブな生き方によって支えられていたってことだよねえ：」「やはり真の愛を以って叱られることも必要なんですね」



★これまでのお話(1~193話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 9月15日号につづく